

全国日独協会連合会設立30周年記念事業

日独交流国際会議2018

金沢

2018年5月20日(日)～22日(火)



史上初めての日本の日独協会とドイツの独日協会のメンバーによる合同の日独国際会議を行います。この日独交流国際会議は、日独国際会議（2018年5月20日より22日まで）と北陸三県見学ツアー（2018年22日夕方より27日まで）から成っています。

本会議では、日独交流のこれまでの問題と今後について話し合い、両国の交流を深化させ、この金沢での大会がきっかけとなって交流がより活発になるようにしたいと思います。そして、北陸三県見学ツアーでは、日独双方の親睦をはかる狙いがあります。

このような会議を計画するに至った経緯として、両国の会員の高齢化、日独関係の希薄化により、相互関心が失われているのではないかという危惧があります。日独修好条約締結150周年記念の年である2011年に東北大震災が起きました。そのとき、日独関係の重要性がドイツで思い起こされ、日本を救わなければならないと、ドイツの多くの独日協会が立ち上がってくれました。

私たちは、これまでの日独交流の遺産を消費し、単なる歴史にしてはなりません。新しい命を吹き込む必要があります。ドイツには日本を暖かく見守る独日協会があり、日本にはドイツに愛情をもつ日独協会がありますが、これまで、それぞれが独自に活動して来ました。両者が定期的に会い、情報を交換し、共同でイベントを立ち上げなければ、独りよがりになってしまうでしょう。

そこで日本全国の日独協会とドイツ全国の独日協会が一堂に会して話し合う、日独交流国際会議を開催することになりました。これを契機に、日独両国で日独がともに参加できる具体的なプロジェクトに基づいた交流の場が生まれることを目指しています。そのために日独交流国際会議で具体的な提案がなされるよう、分科会で議論し、それらを金沢宣言として纏めたいと考えています。

日独両国の協会の皆さま、このような趣旨で2018年5月20日から金沢で行われる日独交流国際会議には是非ともご参加をお願いいたします。

石川日独協会 西嶋義憲・楠根重和

会議プログラム

5月20日(日)

15時00分～17時00分 若者交流会議

会場 しいの木迎賓館 2階

住所 〒920 - 0962 石川県金沢市広坂2-1-1

司会進行 ユーリア・ミュンヒ博士・石川日独協会理事 足立英彦博士

若者会議参加者

日本側12名

高橋正樹 Herr Masaki TAKAHASHI

山崎亜希 Frau Aki YAMAZAKI

吉見隆寿 Herr Takahisa YOSHIMI

西野 哲 Herr Tetsu NISHINO

緒方愛実 Fau Manami OGATA

赤沼大樹 Herr Taiju AKANUMA

崎山智華 Frau Tomoka SAKIYAMA

小野竜史 Herr Tatsuhito ONO

山本蒼来 Frau Sora YAMAMOTO

竹内優 Frau Yu TAKEUCHI

小田原大 Herr Dai ODAWARA

北岡 歩 Frau Ayumu KITAOKA

大澤吾侑 Herr Ayu OHSAWA

日独ユースネットワーク代表、東京日独協会

日独ユースネットワーク副代表、東京日独協会

日独ユースネットワーク役員、東京日独協会

日独ユースネットワーク、東京日独協会

日独ユースネットワーク、古屋日独協会名

日独ユースネットワーク、鹿児島日独協会

鹿児島日独協会

日独ユースネットワーク、東京日独協会

千葉日独協会

千葉日独協会、日独ユースネットワーク

日独協会東京 法人会員

石川日独協会

石川日独協会

ドイツ側11名

Frau Carina BUBLIES, DJG Augsburg,

Herr Christoph LUEDTKE, DJG Augsburg, Uni Augsburg

Frau Sabrina KORTI, DJG Augsburg, Uni Augsburg

Herr Christopher Johannes ANDERS, DJG Berlin

Frau Juliane Gabriele HENNING, DJG Berlin

Herr Michael DREWING, DJG Bayern, Connichi / Animexx e.V.

Frau Man-Thi TRAN, DJG Leipzig

Herr Martin WULFF

Frau Esther BRODA, FH Münster

Herr Tim BRANDEL

Herr Alexander JÄGER

18時00分～20時00分 日独交流国際会議及び観光コース受付

会場 しいの木迎賓館 2階

住所 〒920 - 0962 石川県金沢市広坂2-1-1

19時00分～21時00分 日独交流国際会議前夜祭

会場 しいの木迎賓館 2階

住所 〒920 - 0962 石川県金沢市広坂2-1-1

司会進行 石川日独協会会長 西嶋義憲

音楽(モーツァルトアカデミー) 指揮者: 石川日独協会理事 木戸博也

石川日独協会会長 西嶋義憲挨拶

ドイツ側挨拶

九谷太鼓

アンゲルス劇団による小作品鑑賞等

5月21日(月)

会場 金沢歌劇座大集会室(2階)全体会議
住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

8時30分～10時00分、12時30分～13時00分 同伴者観光デスク受付

金沢市内観光午前コース:集合時間 9時、出発 9時10分
集合場所 歌劇座観光デスクカウンター
金沢市内観光午後コース:集合時間 13時、出発 13時10分
集合場所 歌劇座観光デスクカウンター

日独交流国際会議 Part 1

会場 金沢歌劇座大集会室(2階)全体会議
住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

8時00分～9時00分 受付

9時00分～10時00分

司会進行及び通訳 石川日独協会名誉会長 楠根重和、中央大学名誉教授 野口薫
日独国歌独唱 テノール歌手石川日独協会理事・金沢大学教授 安藤常光
石川日独協会会長 西嶋義憲(金沢大学教授)開会宣言
石川県知事代理観光戦略推進部長 山本陽一挨拶
金沢市長 山野之義挨拶
白山市市長代理 井田正一副市長挨拶
かほく市長 油野和一郎挨拶
日独協会連合会会長代理 木村敬三挨拶
独日協会連合会会長 フォルカー・シュタンツェル挨拶
独日協会連合会名誉会長 ルプレヒト・フォンデュラン挨拶

10時00分～11時00分 講演

日独交流の歴史と今後の発展
日本側 橋本孝(全国日独協会連合会副会長)
ドイツ側 ルプレヒト・フォンデュラン博士(独日協会連合会名誉会長)

11時00分～11時15分 休憩

11時15分～11時45分 講演

日独の持続ある発展のために
シュテファン・グループヘア博士(在京ドイツ連邦共和国大使館首席公使)

11時45分～12時45分 昼食

日独交流国際会議 Part 2

会場 金沢歌劇座大集会室(2階)全体会議
住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

司会者進行 柚岡一明(日独協会理事常務理事)
通訳 ミリアム・グリットナー(日独協会職員)
出原悠(日独協会理事)

12時45分～14時00分 日独協会連合会決議事項と報告事項
14時00分～15時45分 日本各地の日独協会の活動報告
15時45分～16時00分 コーヒー・ブレイク
16時00分～17時00分 独日協会連合会報告 ユーリア・ミュンヒ博士
ベルリン独日協会、オスナーブリュック独日協会

トリア独日協会等

17時00分～17時30分

質疑応答

18時30分～20時30分

歓迎パーティ

会場 つば甚

住所 〒921-8033 石川県金沢市寺町5丁目1-8

伝統芸能等鑑賞

開会挨拶 安藤謙治（石川日独協会副会長）

日本側とドイツ側の挨拶

知事代理観光戦略推進部 国際交流課坂井亮一挨拶

金沢市長代理、金沢市長公室長・国際交流課課長山田敏之挨拶

かほく市長代理かほく市生涯学習課課長折戸靖幸挨拶

5月22日(火)

8時00分～9時00分 ワークショップ 受付

会場 金沢歌劇座

住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

8時30分～9時00分 同伴者観光プログラム受付

同伴者プログラム

金沢市内観光午前コース 集合時間 9時、出発 9時10分

集合場所 歌劇座観光デスクカウンター

日独国際交流会議 Part 3

9時00分～10時40分 ワークショップ1

「日独の若者交流の実例から今後の交流拡大を探る」

会場 金沢歌劇座 第6+7室（2階）

住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

司会進行 ユーリア・ミュンヒ博士（独日協会連合会理事（若者交流担当））

司会・通訳 山崎亜希（日独ユースネットワーク副代表）

報告 ユーリア・ミュンヒ博士 趣旨説明

報告 高橋正樹（日独ユースネットワーク代表）

日独の若者による交流の推進のための具体的な事例紹介

日独ユースネットワークの団体紹介/メンバー紹介

報告 緒方愛実（日独ユースネットワーク、名古屋日独協会）

JG-Youth Connectイベント紹介

報告 吉見隆寿（日独ユースネットワーク役員）

Hallo Japan / Hallo Deutschland紹介

報告 ミハエル・ドリューウィング（バイエルン独日協会、

プロジェクト「Connichi」、広報・メディア担当）

ドイツ最大の「Jポップ」団体のANIMEXX eVの「Connichi」イベント紹介

パネルディスカッションと質疑応答

9時00分～10時40分 ワークショップ2

「東北復興支援活動を参考に日独協会・独日協会の枠を超えた日独の地域間交流や地域支援の具体的なプロジェクトから新たな交流形態を模索する」

会場 金沢歌劇座第3+4室（2階）

住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

司会進行 柚岡一明（日独協会常務理事）
通訳 ミリアム・グリットナー（日独協会職員）

報告 ゲサ・ノイエルト(Gesa Neuert, DJG Bielefeld)・橋本孝（栃木日独協会会長）
独日シナジー・フォーラム三陸復興の活動プロジェクト紹介

報告 竹谷宗久(Munehisa TAKEYA)（ベルリン独日協会副会長）

絆ベルリンの東北支援活動紹介

報告 NRW州経済振興公社日本代表 ゲオルク・ロエル社長（日独協会理事）
東日本大震災後のドイツNRW州と福島県との共同プロジェクト紹介

報告 西島豊（豊橋日独協会）

日本・ドイツの絆・東北復興支援、
豊橋日独協会「チーム西島」の活動紹介

パネルディスカッションと質疑応答

10時40分より10時50分 コーヒー・ブレイク

10時50分～12時30分 ワークショップ3

「伝統文化・工芸の中心、金沢の文化と芸術の国際交流の可能性を探る」

会場 金沢歌劇座大集会室(2階)

住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

司会進行 石川日独協会名誉会長 楠根重和・中央大学名誉教授 野口薫

報告 西村松逸（金沢漆芸会会長）

工芸の国際交流と工芸留学について

報告 昭元ゲッペルト（総持寺僧侶）

禅宗について

報告 岡井直道（演出家、日本演出者協会会員）

金沢の日独演劇製作、日独演劇交流の取組について

12時40分～13時50分 昼食

14時00分～14時30分 金沢宣言発表(日・独)

会場 金沢歌劇座大集会室(1階)

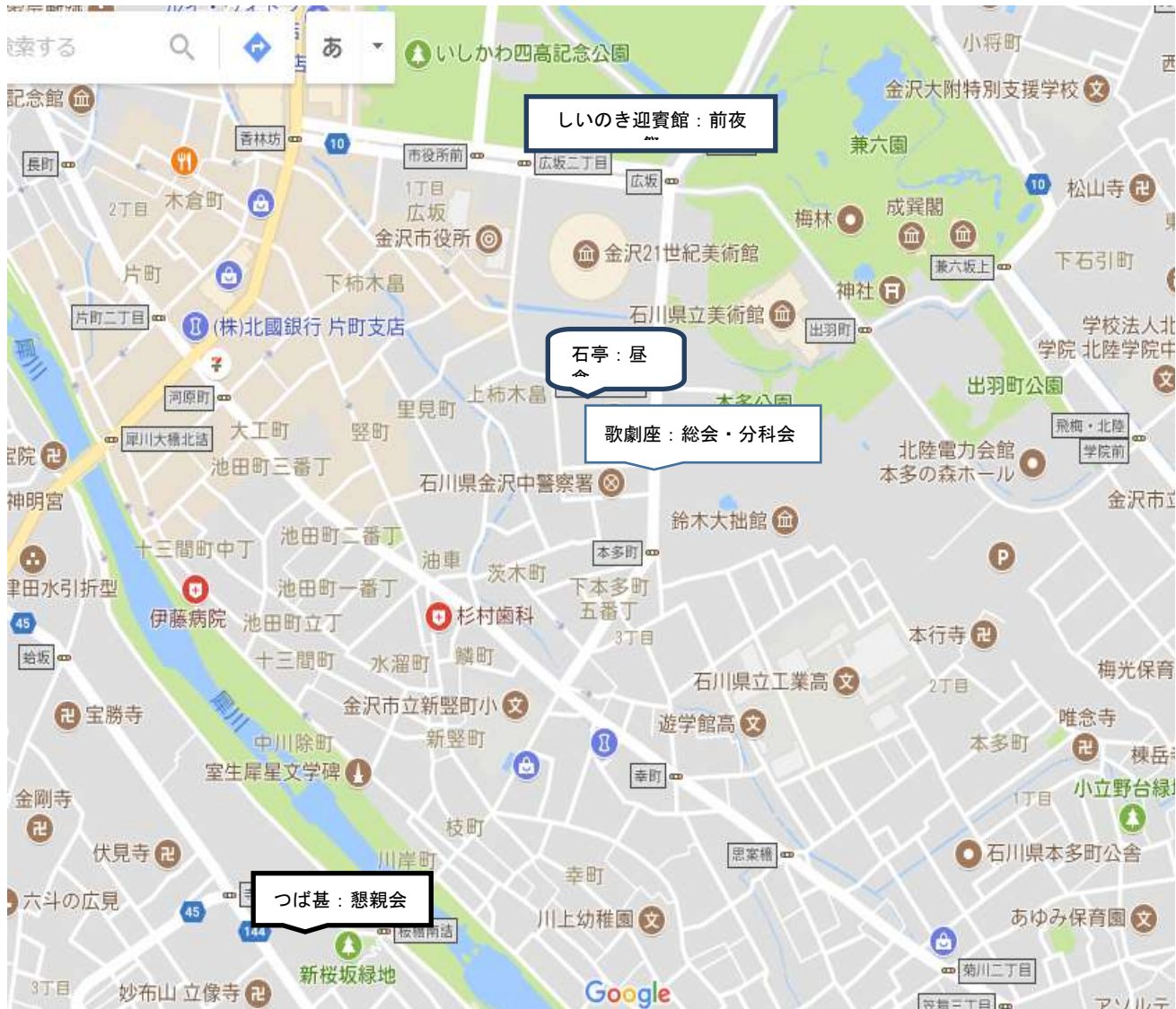
住所 住所 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

以上

会議場周辺の地図

しいのき迎賓館（前夜祭）920-0962 金沢市広坂 2-1-1 (Tel.: 076-261-1111)

歌劇座（会議場）920-0663 金沢市下本多 6-27 (Tel.: 076-220-2501)



つば甚（公式歓迎会）921-8033 金沢市寺町 5-1-8 (Tel.: 076-241-2181)

しいの木迎賓館と歌劇座は歩いて5分の距離。歌舞伎座からつば甚是徒歩で10分から15分程度
問い合わせその他は以下のところに宜しくお願いします。

石川日独協会事務局

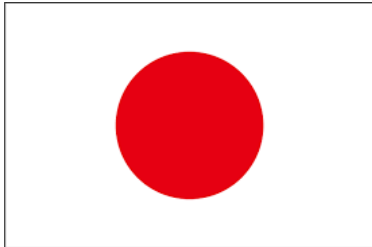
ishikawanichidokukyokai@gmail.com

920-1192 金沢市角間町

金沢大学法学類 足立英彦方

Tel. 076-264-5383

Fax. 076-264-5405



**Zum 30jährigen Bestehen des Verbands
der Japanisch-Deutschen Gesellschaften**

**Die Internationale Konferenz zum
Japanisch-Deutschen Austausch in
Kanazawa 2018**

**Kanazawa
20. - 22. Mai 2018**



Die historisch einmalige, erste internationale Konferenz zwischen dem VJDG und dem VDJG wird vom 20. Mai bis zum 22. Mai 2018 in Kanazawa stattfinden. Die Tagung soll der Vertiefung und dem Ausbau des Austauschs zwischen Japan und Deutschland, vor allem zwischen den JDGen und DJGen, dienen. Um dies zu verwirklichen, ist es notwendig, über bisherige und noch auszuarbeitende Projekte zu sprechen.

Über zukünftige Projekte und Möglichkeiten die japanisch-deutsche Beziehung zu intensivieren wird in kleinen Gruppen, bestehend aus Mitgliedern der beiden Gesellschaften, und einigen Experten diskutiert. Von Seiten Kanazawas wird ein kultureller Austausch, vor allem im Bereich Handwerkskunst und Theater, vorgestellt, wofür die Stadt Kanazawa bekannt ist. Jede JDG und jede DJG hat ihre besonderen Stärken und Eigenschaften. Wir hoffen, dass Sie ihrerseits konkrete Vorschläge machen und nach kooperierenden Gesellschaften Ausschau halten werden. Am Ende der internationalen Konferenz zwischen Japan und Deutschland veranstalten wir eine Informationsreise (vom 22. Mai abends bis zum 27. Mai) im Kanazawa- und Hokuriku-Gebiet (Fukui, Ishikawa und Toyama) mit Kultur, Handwerkskunst und überwältigender Natur.

Angesichts des fortschreitenden Überalterungsprozesses der Mitglieder und des schwindenden Interesses auf beiden Seiten am jeweiligen Partnerland, ist es schon lange überfällig, ein solch gemeinschaftliches Treffen zwischen den JDGen und den DJGen zu organisieren. Das zeigt sich vor allem am abnehmenden Interesse der Jugendlichen. Im Jahr 2011, dem 150en Jubiläum des Abschlusses des Freundschaftsvertrags zwischen Japan und Deutschland, wurde an die besondere Bedeutung der japanisch-deutschen Beziehungen erinnert. Die Dreifachkatastrophe (AKW-Unfall, Erdbeben und Tsunami) hat das japanisch-deutsche Erbe wieder lebendig gemacht. Viele DJGen leiteten Spendenaktionen ein und viele Freiwillige aus Deutschland beteiligten sich an humanitärer Hilfe im Tohoku-Gebiet. Das Erbe der japanisch-deutschen Beziehungen darf weder veraltet noch Geschichte sein. Es sollte stets mit neuem Leben erfüllt werden.

Wir hoffen, dass das diesmalige Treffen in Kanazawa durch gegenseitige Begegnungen, gemeinsame Projekte und Veranstaltungen, durch Beteiligung Jugendlicher beider Länder, die japanisch-deutsche Beziehung stärkt und diese über Generationen hinaus fortgeführt werden kann. Der Austausch soll nicht nur in Form von Ideen geschehen, sondern es sollen konkrete Projekte entstehen. In kleinen Gruppen arbeiten und diskutieren wir über mögliche Projekte in verschiedenen Gegenden der beiden Länder. Am Ende der Konferenz möchten wir gern unsere Vorschläge präsentieren. Die Ergebnisse werden in Form der „Kanazawa-Resolution“ am Ende der Konferenz bekannt gegeben. Wir bitten Kolleginnen, Kollegen und Gleichgesinnte in Deutschland um ihre Teilnahme an der bilateralen Konferenz des VJDG und des VDJG!

JDG Ishikawa Nishijima Yoshinori (Präsident) und
Shigekazu Kusune (Ehrenpräsident)

Tagungsprogramm

20. Mai 2018 (Sonntag)

15.00 – 17.00 Treffen der Jugendlichen

Ort: Shiinoki-Geihinkan, 2. F, Veranstaltungshalle

Adresse: Hirosaka 2-1-1, Kanazawa 920-0962

Moderation: Dr. Julia MÜNCH und Hidehiko ADACHI (Vorstand der JDG Ishikawa)

Teilnehmer von japanischer Seite:

Masaki TAKAHASHI (Präsident des Japanisch-Deutschen Jugendnetzwerks, JDG Tokyo)

Aki YAMAZAKI (Vizepräsident des Japanisch-Deutschen Jugendnetzwerks, JDG Tokyo)

Takahisa YOSHIMI (Vorstand des Japanisch-Deutschen Jugendnetzwerks, JDG Tokyo)

Tetsu NISHINO (Japanisch-Deutsches Jugendnetzwerk, JDG Tokyo)

Manami OGATA (Japanisch-Deutsches Jugendnetzwerk, JDG Nagoya)

Taiju AKANUMA (Japanisch-Deutsches Jugendnetzwerk, JDG Kagoshima)

Tomoka SAKIYAMA (Japanisch-Deutsches Jugendnetzwerk, JDG Kagoshima)

Tatsuhito ONO (Japanisch-Deutsches Jugendnetzwerk, JDG Tokyo)

Sora YAMAMOTO (JDG Chiba)

Yu TAKEUCHI (Japanisch-Deutsches Jugendnetzwerk, JDG Chiba)

Dai ODAWARA (Firmenmitglied, JDG Tokyo)

Ayumu KITAOKA (JDG Ishikawa)

Ayu OHSAWA (JDG Ishikawa)

Teilnehmer von deutscher Seite:

Carina BUBLIES, DJG Augsburg,

Christoph LUEDTKE, DJG Augsburg, Uni Augsburg

Sabrina KORTI, DJG Augsburg, Uni Augsburg

Christopher Johannes ANDERS, DJG Berlin

Juliane Gabriele HENNING, DJG Berlin

Michael DREWING, DJG Bayern, Connichi / Animexx e.V.

Man-Thi TRAN, DJG Leipzig

Martin WULFF

Esther BRODA, FH Münster

Tim BRANDL

Alexander JÄGER

18.00 – 20.00 Registrierung zur Konferenz

Ort: Shiinoki-Geihinkan, 2. F, Veranstaltungshalle, Informationsstand

Adresse: Hirosaka 2-1-1, Kanazawa 920-0962

Es werden auch Informationen zu Sehenswürdigkeiten und Touren für Begleitpersonen angeboten.

19.00 – 21.00 Willkommensparty am Vorabend

Ort: Shiinoki-Geihinkan, 2. F, Veranstaltungshalle

Adresse: Hirosaka 2-1-1, Kanazawa 920-0962

(Getränke und leichtes Essen für die Teilnehmer der Konferenz)

Moderation: Prof. Yoshinori NISHIJIMA, Präsident der JDG Ishikawa

Musik: Hiroya KIDO, Vorstandsmitglied der JDG Ishikawa (Mozartakademie)

Grußworte von Yoshinori NISHIJIMA, Präsident der JDG Ishikawa

Grußworte von deutscher Seite

Traditionelle Aufführungen wie Trommel und Theater

21. Mai 2018 (Montag)

8.00 – 9.00 Registrierung zur Konferenz

Ort: Großer Saal vom Kanazawa Kagekiza, 2. F, Informationsstand

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

8.30 – 10.00, 12.30 – 13.00 Registrierung zum Begleitprogramm

Ort: Großer Saal vom Kanazawa Kagekiza, 2. F, Informationsstand

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993 .

Begleitprogramm:

Besichtigung der Stadt Kanazawa (Vormittagstour)

Treffzeit: 9 Uhr, Abfahrt: 9.10 Uhr

Treffpunkt: Kagekiza Kanazawa, Informationsstand

Besichtigung der Stadt Kanazawa (Nachmittagstour)

Treffzeit: 13 Uhr, Abfahrt: 13.10 Uhr

Treffpunkt: Kagekiza Kanazawa, Informationsstand

Internationale Konferenz zwischen Japan und Deutschland Teil 1

Ort: Großer Saal vom Kanazawa Kagekiza, 2. F

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

Moderation: Prof. Shigekazu KUSUNE, Ehrenpräsident der JDG Ishikawa und Prof. Kaoru NOGUCHI

9.00 – 10.00

Eröffnung

Die Japanische und Deutsche Nationalhymne als Tenorsolo von Prof. Joko ANDO, Vorstandsmitglied der JDG Ishikawa

Eröffnungsrede Yoshinori NISHIJIMA, Präsident der JDG Ishikawa

Grußworte von Yoichi YAMAMOTO, Stellvertretender Gouverneur der Präfektur Ishikawa und Leiter der Abteilung für Tourismusförderung

Grußworte von Yukiyooshi YAMANO, dem Oberbürgermeister der Stadt Kanazawa

Grußworte von Waichiro ABURANO, Bürgermeister der Stadt Kahoku

Grußworte von Shoichi IDA, Vizebürgermeister der Stadt Hakusan

Grußworte von Keizo KIMURA, Vizepräsident des VJDG

Grußworte von Dr. Volker Stanzel, Präsident des VDJDG und Botschafter a.D. in Japan

Grußworte von Dr. Ruprecht VONDRAN, Ehrenpräsident des VDJDG

10.00 – 11.00

„Die Geschichte des Japanisch-Deutschen Austauschs und seine weitere Entwicklung“

Prof. Takashi HASHIMOTO, Vizepräsident des VJDG und

Dr. Ruprecht VONDRAN, Ehrenpräsident des VDJDG

11.00 – 11.15

Kaffeepause

11.15 – 11.45

„Zur nachhaltigen Beziehung zwischen Japan und Deutschland“

Dr. Stephan GRABHERR, Minister und Vertreter des Deutschen Botschafters

11.45 – 12.45 Mittagspause

Internationale Konferenz zwischen Japan und Deutschland Teil 2

Ort: Großer Saal vom Kanazawa Kagekiza, 2. F

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

Moderation: Kazuaki YUOKA, ständiges Vorstandsmitglied der JDG Tokyo, Miriam GRITTNER, Angestellte der JDG, Hisashi IDEHARA, Vorstandsmitglied der JDG

12.45 – 14.00 Berichte und Beschluss des VJDG

14.00 – 15.45 Berichte der JDGen

15.45 – 16.00 Kaffeepause

16.00 – 17:00 Berichte der DJGen: Einführung von Dr. Julia MÜNCH, DJG Berlin, DJG Osnabrück, DJG Trier u. a.

17.00 – 17.30 Diskussion

18.30 – 20.30 Offizielle Empfangsparty

Ort: Ryotei Tsubajin

Adresse: Teramachi 5-1-8, Kanazawa-shi, Ishikawa-ken 921-8033

Traditionelle Performance

Eröffnungsrede von Kenji ANDO, Vizepräsident der JDG Ishikawa

Grußworte von deutscher und japanischer Seite

Grußworte von Yasuyuki ORITO, Bildungsausschuss der Stadt Kahoku

Am 22. Mai 2018 (Dienstag)

8.00 – 9.00 Registrierung zu den Workshops

Ort: Kanazawa Kagekiza, 2. F, Informationsstand

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

8.30 – 9.00 Registrierung zum Begleitprogramm

Ort: Kanazawa Kagekiza, 2. F, Informationsstand

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

Begleitprogramm:

Besichtigung der Stadt Kanazawa (Vormittagstour)

Treffzeit: 9 Uhr, Abfahrt: 9.10 Uhr

Treffpunkt: Kagekiza Kanazawa, Informationsstand

Internationale Konferenz zwischen Japan und Deutschland Teil 3

9.00 – 10.40 Workshop 1 mit Podiumsdiskussion „Beispiele und neue Projekte für den Japanisch-Deutschen Jugendaustausch“

Ort: Kanazawa Kagekiza, 2. F, Raum 6 und 7

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

Moderation: Dr. Julia MÜNCH, VDJG-Vorstandsmitglied und Zuständige für den Jugendaustausch,
Aki YAMAZAKI, Vizpräsident des Japanisch-Deutschen Jugendnetzwerks

Einleitende Worte von Dr. Julia MÜNCH

„Ein konkretes Beispiel zum Japanisch-Deutschen Jugendaustausch“ Masaki
TAKAHASHI Präsident des Japanisch-Deutschen Jugendnetzwerks, JDG Tokyo

„Über JG-Youth Connect“ Manami OGATA, Japanisch-Deutsches
Jugendsnetzwerk, JDG Nagoya

„Über das Hallo Japan / Hallo Deutschland Projekt“ Takahisa YOSHIMI,
Vorstand des Japanisch-Deutschen Jugendnetzwerks, JDG Tokyo

„Über die 「Connichi」 “ Michael DREWING, Connichi / Animexx e.V. ,
DJG Bayern

9.00 – 10.40 Workshop 2 mit Podiumsdiskussion „Auf der Suche nach einer neuen Form des Austauschs: Erfolgsbeispiele im Japanisch-Deutschen Austausch die über den Rahmen der JDGen und DJGen hinausgehen, wie Städtepartnerschaften und Unterstützung in der Tohoku-Region“

Ort: Kanazawa Kagekiza, 2. F, Raum 3 und 4

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

Moderation: Kazuaki YUOKA, ständiges Vorstandsmitglied der JDG Tokyo, Miriam GRITTNER,
Angestellte der JDG

„Neue Wege nach der Dreifachkatastrophe – Nachhaltige Programme zur
Intensivierung der Deutsch-Japanischen Freundschaft“
Gesa NEUERT, Präsidentin des Deutsch-Japanischen Synergie Forums Sanriku
Sukkou e. V. und der DJG Bielefeld, Prof. Takashi HASHIMOTO, Präsident
der JDG Tochigi

„Ein Bericht über die Hilfsaktionen des Vereins Kizuna-in-Berlin und der DJG
Berlin nach der Dreifach-Katastrophe“ Munehisa TAKEYA, Vizepräsident der
DJG Berlin

„Über die Kooperation der Präfektur Fukushima und des Bundeslandes
Nordrhein-Westfalen nach dem 11.3.2011“ Georg K. LÖER, Geschäftsführer
und Präsident, NRW Japan K.K.

„Das Toyohashi-Projekt: Unterstützung beim Wiederaufbau der Tohoku-
Region“, Yutaka NISHIJIMA, JDG Toyohashi

10.40 – 10.50 Kaffeepause

10.50 – 12.30 Workshop 3

„Kanazawa als ein Zentrum der Handwerkskunst - Möglichkeiten zur kulturellen und künstlerischen Kooperation“

Ort: Großer Saal vom Kanazawa Kagekiza, 2. F

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-0993

Moderation: Prof. Shigekazu KUSUNE, Ehrenpräsident der JDG Ishikawa, Kaoru NOGUCHI, em. Professor der Chuo-Universität

„Handwerksaustausch und Handwerksstudium im Ausland“ Shouitsu NISHIMURA, Lackmeister

„Zen Buddhismus“ Oliver GEPPERT, Mönch des Sojiji Tempels

„Japanisch-deutsche Theaterproduktion, japanisch-deutscher Theaterraustausch“ Naomichi OKAI, Mitglied der „Japan Directors Association“

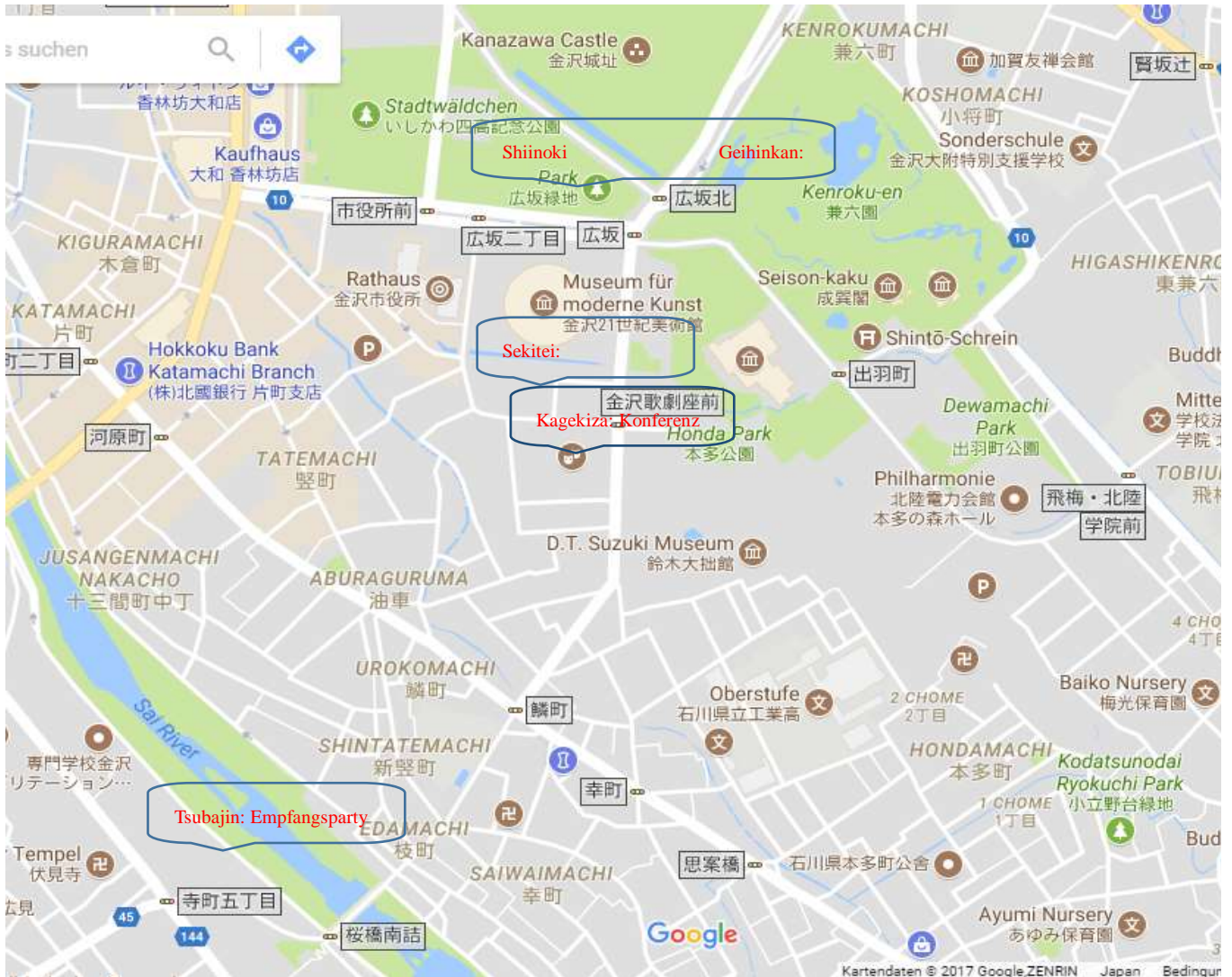
12.40 – 13.50 Mittagessen

14:00 – 14:30 Kanazawa-Resolution in beiden Sprachen

Ort: Großer Saal vom Kanazawa Kagekiza, 2. F

Adresse: Shimohondamachi 6-27, Kanazawa 920-09

Stadtplan und Anschriften in Kanazawa



Shiinoki-Geihinkan (Willkommensparty) Hirosaka 2-1-1, 920-0962 Kanazawa (Tel.: 076-261-1111)
Kagekiza (Tagungsort) Shimohonda 6-27, Kanazawa 921-8033 (Tel.: 076-220-2501)
Tsubajin (Empfangsparty) Teramachi 5-1-8, Kanazawa 921-8033 (Tel.: 076-241-2181)

JDG Ishikawa: Büro der JDG Ishikawa
Japanese-German Society Ishikawa/ Japanisch-Deutsche Gesellschaft Ishikawa
Prof. Hidehiko Adachi,
c/o University Kanazawa, Faculty of Law
Kakumamachi
Kanazawa 921-8033/ Japan
Tel. 076-264-5383 FAX Fax. 076-264-5405
E-Mail: ishikawanichidokukyokai@gmail.com